

「福井ふるさと元気宣言」推進に関する政策合意

私は、知事の政策スタッフとして、「福井ふるさと元気宣言」に掲げられた政策等を実現するため、次に掲げる施策・事業について重点的に実施することを西川一誠知事と合意します。

平成27年7月

福井県知事 西川 一 誠
農林水産部長 中 村 保 博

27年度目標（30年度目標）

27年度の施策

1 「農」・「林」・「漁」業を意欲と誇りの総合産業へ

◇食料産業パワーアップ

○競争力を高める福井米づくり

- ・「ポストこしひかり」の現地実証栽培を県内5カ所で実施し、米の専門家による食味評価を行うことにより、4種にまで候補を絞り込みます。
- ・「ポストこしひかり」のブランド化戦略策定に向けた専門家の意見聴取を行います。
- ・農地の集積・集約を進め、100ha規模のメガファームへの規模拡大と経営力を向上します。（平成26年度累計5組織）

3組織増 累計8組織（累計20組織）

○九頭竜川地域 農と水の振興ビジョンの推進

- ・夜間かんがいと農薬の使用量を減らしたコシヒカリの生産を、パイプライン通水エリアの全域で実施します。(平成 26 年度累計 875ha)

925ha 増 累計 1,800ha (累計 2,000ha)

- ・三里浜砂丘地でメロン、コカブ、ラッキョウ等の生産を拡大します。(平成 26 年度累計 138ha)

7ha 増 累計 145ha (累計 180ha)

○福井の野菜・果物をもっと市場へ

- ・周年出荷を目指した大規模施設でミディトマト等の生産を拡大し、関西市場を中心に販売します。(平成 26 年度 55 t)

150 t (500 t)

- ・水田地域において、ネギ、キャベツ等の生産を行う集落営農組織、認定農業者を育成します。(平成 26 年度累計 73 組織等)

37 組織等増 累計 110 組織等 (累計 150 組織等)

- ・ブドウを重点 4 品種に絞って作付を拡大し、シャインマスカットや藤稔等を組み合わせた贈答用のセット販売等を行います。(平成 26 年度 21 t)

35 t (140 t)

○「福井百歳やさい」の生産拡大

- ・伝統野菜を「福井百歳やさい」として生産面積拡大を支援します。(平成 26 年度累計 9.6ha)

2.4ha 増 累計 12ha (累計 20ha)

- ・農業試験場に「種苗供給センター」を設置し、「福井百歳やさい」の種子を供給します。

○若狭牛の生産・販売拡大

- ・若狭牛の導入支援や飼料用米の活用により、三ツ星若狭牛の生産・販売を拡大します。(平成 26 年度 1.5 億円)

2 億円 (3 億円)

○6次産業のスケールアップ

- ・サトイモアイスやいかへしこオイル漬けなど新商品の開発、食品加工工場等への支援、インターネット通販サイトの活用等により、**6次化商品の販売額を増やします。**(平成26年度 1.2億円)

1.7億円(3.1億円)

○試験研究改革

- ・田起こし作業の自動化、施肥量自動調節、水田の均平化、衛星画像を用いた稲の生育診断技術について**企業・大学と共同研究**を行い、**省力化・高品質・高食味につながる技術を確立**します。
(平成22～26年度 4件)

3件(4年間計10件)

◇「里山里海湖ビジネス」の新展開【部局連携】

○中山間産業の新スタイル

- ・農地の維持管理が困難な中山間地域等においてJA等による**広域作業受託組織を育成**し、耕作放棄を防ぎます。(平成26年度累計 1組織)

2組織増 累計3組織(累計10組織)

- ・中山間地域へ収益性の高い**施設園芸**や、鳥獣被害の少ない**果樹栽培**を推進します。(平成26年度 —)

9か所、1ha(4年間計 60か所、9ha)

- ・**特用林産物**については、ジャンボしいたけ(香福茸)、菊炭、くず、オウレンなど付加価値が高いものや本県独自の品目を支援し、生産・販売を拡大します。(平成26年度 5億円)

5.7億円(7.5億円)

- ・新たに炭焼きを行う人材を育成するとともに、炭焼きに加え薪やしいたけ生産など、里山資源を活用したビジネスモデルを確立します。

○福井型・新グリーンツーリズム

- ・ミニ農家レストラン、ミニ直売所、体験交流型農園、オーベルジュの整備を支援することにより、里山里海湖ビジネスを推進します。
(平成 26 年度累計 14 か所)

30 か所増 累計 44 か所 (累計 134 か所)

- ・漁業体験メニューの拡充や昼食利用の促進等によりさとうみの宿の売上額を増加させます。(平成 26 年度 36 億円)

37 億円 (40 億円)

- ・里山を巡りながらふるさとの自然・歴史・文化と触れ合うトレイルコースを、既設の林道等を活用しながら設定し、地域資源を活用した誘客を進めます。(平成 26 年度 -)

1 千人 (年間 1 万人)

○鳥獣の被害対策

- ・被害の実態に応じた電気柵・金網柵等の整備や地域ぐるみの追い払い活動等を行い、被害防止を促進し、農作物被害面積を減らします。
(平成 22 年度～26 年度平均 306ha)

250ha (150ha)

- ・シカの捕獲技術の向上を図るための研修会の開催や優良捕獲者の登録・派遣を行う人材バンクを設置することで、捕獲体制を強化し、有害鳥獣捕獲頭数を増やします。(平成 26 年度 16,700 頭)

18,000 頭 (21,000 頭)

◇「ふくい食ブランド」を地消・外商【部局連携】

○日本でいちばんおいしい学校給食へ

- ・学校給食畑での畑作体験の促進や和食・郷土料理を取り入れた地産地消給食の導入を進めます。また、農作業を子どもたちが手伝う環境づくりを進め、農業と食に対する認識を深めます。
(平成 26 年度 107 校)

130 校 (194 校 (全校))

○福井ゆかりの店ネットワーク

- ・大都市圏で県産食材の P R や、販路拡大につなげる「福井ゆかりの店」を開拓します。(平成 26 年度 -)

170 店 (4 年間計 250 店)

○海外に売り込む「福井の食」

- ・シンガポールやタイで本県の農林水産物や加工品を取り扱う飲食店を開拓します。(平成 26 年度累計 2 店)

8 店増 累計 10 店 (累計 30 店)

- ・台湾やタイ、シンガポールにおいて、J A、県漁連、企業等と共働で販促活動を展開し、新たに輸出に取り組む県内企業を増やします。
(平成 25 年度 輸出に取り組む県内企業 14 事業者)

18 事業者 (30 事業者)

- ・J A や県漁連、生産者と共働で都市圏の一流ホテルや大手百貨店に食材を売り込むマッチング商談会を開催します。またホテルやレストラン等での「福井フェア」を拡大し、大都市圏の消費者が福井の食を知り、味わう機会を増加します。
(平成 26 年度 福井フェア開催件数 24 件)

27 件 (4 年間計 110 件)

◇もうかる漁業へ転換加速

○里山里海湖の「宝」を福井ブランドへ

- ・漁獲直後から他のカニと区別して取扱い、さらに規格、品質で厳選した「プレミアム越前がに」（仮称）を新たに販売します。
（平成 26 年度 ー ）

500 杯（4 年間計 2,000 杯）

- ・国内外で需要の高いトラウトサーモンの種苗生産施設、大型養殖施設の整備を支援し、日本一の生産地を目指します。
（平成 26 年度累計 1 か所）

1 か所増 累計 2 か所（累計 4 か所）

○地魚の加工・流通拡大

- ・平成 28 年 4 月の稼働に向け、敦賀市で水産加工施設の整備を進めるとともに、福井ゆかりの店や首都圏での商談会等を活用し加工品販売額を増加させます。（平成 26 年度 371 億円）

375 億円（395 億円）

◇森を市場にもっと直結

○県産材をフル活用

- ・ **コミュニティ林業**を実施する集落をこれまでの2倍に拡大、さらに国道や県道などの主要道路や景勝地周辺等、山ぎわでの間伐を進めます。(平成22～26年度 55集落 (10集落/年))

20集落 (4年間計 80集落)

- ・ 間伐材の搬出に加え、森林浴や獣害対策などに活用できる作業道の整備を進めます。
- ・ 人工乾燥施設の導入を毎年1基、3年間支援し、工務店が求める品質の確かな人工乾燥材の生産拡大により、**県産柱材の利用**を拡大します。(平成26年度 2,800 m³)

3,300 m³ (6,800 m³)

- ・ モデル住宅団地の木質化やマンションの内装材、オフィス家具など新たな分野での利用開拓を進めます。
- ・ 「**山の市場**」を整備し、林地残材や薪等を自伐林家、商店街、森林組合等が共働して、販売できる仕組みづくりを進めます。(平成26年度 —)

2地区 (4年間計 5地区)

- ・ 山から搬出した間伐材をA、B、C材に選別、効率的に出荷するための**ウッドターミナル等**を整備し、木質バイオマスへの安定供給を着実に進めます。(平成26年度 —)

1か所 (4年間計 6か所)

2 福井から人材育成

◇産業人材の育成・誘致システム

○県内外からの誘致を強化

- ・県内外での就労相談会や専門学校等訪問を実施し、U I ターン者を対象とした研修や奨励金制度をPRすることにより、県内外から人材を確保します。

○人材育成カレッジなど研修体制を充実・強化

- ・園芸カレッジにスマート園芸コース（ICTを活用した夏獲りイチゴ、ミディトマトの多収技術、パプリカの周年栽培技術）を新設するなど研修体系の充実や、県独自の45歳以上の県外者への給付金拡充により、生産技術や経営能力を有する**新規就農者**を確保します。
（平成26年度 61人）

80人（4年間計 350人）

- ・ふくい水産カレッジの開設や里親制度、短期研修制度、定着資金貸付制度を強化することで、**新規漁業就業者**を確保します。
（平成26年度 14人）

20人（4年間計 80人）

- ・高性能機械のオペレータ養成研修の新設など、林業の担い手育成機関の研修を充実し、高い技術力を持つ**新規林業就業者**を育成します。
（平成26年度 32人）

40人（4年間計 180人）

3 日本一の安全・安心

◇あらゆる災害対応を迅速第一【部局連携】

○ハード・ソフトの県土強靱化

- ・地元と共動して農業水利施設の点検・管理体制を強化し、災害を未然に防止するとともに、機能診断に基づく機能保全計画を策定し、施設の長寿命化対策を徹底します。（平成 26 年度累計 234 施設）

46 施設増 累計 280 施設（累計 400 施設）

4 豊かな環境、すぐれた風景を次の世代に

◇元気な里山里海湖【部局連携】

○福井の豊かな里山里海湖を次世代に

- ・水田魚道などの生態系保全や植栽などの農村景観保全に取り組む集落数を拡大し、豊かな環境、すぐれた風景を次の世代に繋げます。（平成 26 年度累計 550 集落）

140 集落 累計 690 集落（累計 1,100 集落）

5 国体の成功と「スポーツ福井」の実現、文化・芸術を身近に

◇県民総参加の福井国体【部局連携】

○花づくり活動の推進

- ・県内全域の公民館単位に花いっぱい運動推進員 220 名を配置し、花づくり活動を進めます。
- ・福井国体開催に向けた花づくり活動の機運向上のため、全国規模の花の大会（平成 29 年度開催）を誘致します。